

浮世絵には

屈託のない笑いから福徳への願い、世の中への不安や不満まで、人々の感情がユーモラスに描き表されたものが数多くあります。本展では、漫画『のらくろ』の作者・田河水泡が収集したコレクションを中心に、当館が収蔵する浮世絵の戯画や風刺画、大津絵など約140点を展示。幕末から明治前期にわたる激動の時代に、世相を描かずにはいられなかった無数の絵師たちの滑稽表現と、それを楽しんだ民衆の本音を読み解きます。



混乱の時代をユーモアで乗り切ろうとする風刺画から、素朴な滑稽さが魅力の大津絵まで、想像力あふれる表現がたくさん！



歌川広重《お菊・芋蛸》天保(1830-44)末頃



歌川国芳《みかけはこはいがとんだいゝ人だ》弘化4年(1847)頃



変幻自在な表現を武器に幕末の世相を描いた歌川国芳をはじめ、歌川広重、河鍋暁斎、一恵斎芳幾、月岡芳年、小林清親ら人気絵師が大集結！



一恵斎芳幾《朝比奈おむげまし》慶応4年(1868)



《世は安政民之賑》安政2年(1855)



《子供あそびものがたり》慶応4年(1868)

関連イベント

田河水泡と「滑稽」—講演と落語—

3月13日(日)午後1時半～3時半(途中休憩あり)

第1部 講演:「田河水泡の生涯と滑稽の探求」

新美琢真(川崎市市民ミュージアム学芸員)

第2部 落語:田河水泡新作落語より席席 三遊亭ぼん太(落語家)

漫画『のらくろ』の作者・田河水泡は、滑稽研究のため多数の風刺画や戯画を収集しました。そのコレクションは晩年を過ごした町田市に寄贈され、現在当館に収蔵されています。

本イベントでは、マンガ研究者の新美琢真さんと落語家の三遊亭ぼん太さんをお招きし、

講演と落語を通して田河水泡の追究した「滑稽」に迫ります。

講堂にて！要本展有料観覧券・招待券(半券可) | 事前申込制(先着60名)

申し込み方法:2月16日(水)正午～3月9日(水)19時イベントダイヤル(042-724-5656)または

イベントHP(イベントコード:220216C)で受付

館長によるスペシャルギャラリートーク

4月3日(日)午後2時～(45分程度)

本展企画者である館長の久保純一が、作品の前で展示のみどころをお話しします。本展観覧券(当日有効)をお持ちのうえ、企画展示室入口にお集まりください。

アロムナード・コンサート

「ピアノとフルート 笑顔色づくハーモニー」

3月19日(土)午後1時～、3時～(各回30分程度)

演奏:武原まつき(ピアノ)、笠原陽子(フルート)

エントランスホールにて！参加無料！申込不要

※新型コロナウイルス感染症対策のため入場を制限する場合があります。

混雑緩和のため、入場制限を行う場合があります。

お客様の安全と安心のため、マスクの着用にご協力ください。

同時開催

ミニ企画展「奈良美智と版画のなかの子もたち」

2021年12月8日(水)～2022年4月10日(日)

常設展示室
入場無料



奈良美智《Life Is Only One》2010年 当館蔵



町田市立国際版画美術館

Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 Tel. 042-726-2771 <http://hanga-museum.jp/>

[@machida_hanbi](https://www.instagram.com/machida_hanbi) お問い合わせ: 町田市役所代表電話 042-722-3111



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩約15分

《鬼の三味線》江戸時代 ※いずれも当館蔵



《猫と鼠》江戸時代

